

会 議 録 (概要)

会議の名称	平成 30 年度南佐渡クリーンセンター公害防止協議会
開催日時	平成 31 年 2 月 14 日（木） 午後 3 時開会 午後 4 時閉会
場所	小木行政サービスセンター 1 階 会議室
議題	(１) 座長の選出について (２) 平成 29 年度ごみの搬入状況及び平成 30 年度水質検査結果について (３) 平成 31 年度以降の運営方針について (４) その他
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	参加者 施設周辺に居住する市民、有識者 7 名 事務局 環境対策課 課長 原田健一 環境対策課 課長補佐 谷地喜文 南佐渡一般廃棄物最終処分場 技能士 森山 悟
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0 人
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
原田課長	開会のあいさつ
谷地課長補佐	（１）座長の選出について ・参加者の互選により座長を選出する。 （２）平成 29 年度ごみの搬入状況及び平成 30 年度水質検査結果について ア 平成 29 年度ごみ搬入実績について ・ごみ搬入実績について、会議資料の 2 ページにより説明する。 ・南佐渡クリーンセンター管内では、乾電池、集団回収（古紙）を除く、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、有害ごみが平均で約 10% の減少が見られ、人口減の影響が考えられる。また、佐渡市全体としては、ごみの量が前年比 99.08%となっており、ほぼ横ばいとなっている。 ・質疑応答無しのため、市の報告は了承されたものとする。 イ 平成 29 年度南佐渡一般廃棄物最終処分場の埋立実績について ・南佐渡一般廃棄物最終処分場の埋立実績について、会議資料の 3 ページにより説明する。 ・真野クリーンパークが平成 29 年度末を以って埋立終了となり、本年度より真野クリーンパークに搬入されていた廃棄物が南佐渡一般廃棄物最終処分場に搬入されている。 ・真野クリーンパークの残容量が 5,820 m³残ったまま終わっているが、これはどのように見ればよいのか。 ・最終処分場は、埋立完了後に最終覆土を行う必要があるため、これを含めた残容量となっている。 ・真野クリーンパークの最終覆土はいつ頃やる予定なのか。 ・最終覆土は、平成 28 年度に第 1 期工事として 7 割が終わっており残りの 3 割についても予算要求はしているが、佐渡市としても厳しい状況でまだ予定が立っていない。 ・残り 3 割の最終覆土にいくら位かかるのか。 ・約 3,000 万円位である。予算が厳しい中で現在稼働している南佐渡一般廃棄物最終処分場の優先度を考慮しながら予算要求をしていきたいと思っている。 ・南佐渡一般廃棄物最終処分場の残容量が 26,965 m³あるが、あと何年位埋立可能か。 ・資料には計画埋立期間が平成 40 年度までと記してあるが、現在の埋立状況からすると延長可能であると考えている。今後の災害廃棄物等により変動してくる。
森山技能士	
座長	
森山技能士	
参加者	
谷地課長補佐	
参加者	
谷地課長補佐	
参加者	
谷地課長補佐	
参加者	
谷地課長補佐	

森山技能士	・ここ数年の埋立廃棄物の平均は、災害ごみが 300 m³、側溝汚泥等が 200 m³、佐渡クリーンセンター及びメルティングセンター佐渡の残渣類が 600 m³、覆土が 400 m³で、年間の搬入量は 1,500 m³であり、ここに最終覆土の 4,310 m³を加えても、よほど大きな災害等が起きない限り 14 年間は埋立可能と考えている。 ・以上で市の報告は了承されたものとする。
座長	
森山技能士	ウ 平成 30 年度南佐渡一般廃棄物最終処分場の水質検査結果について ・放流水及び地下水の水質検査結果について、会議資料の 4～5 ページにより説明する。 ・放流水及び地下水の水質検査結果は、全て基準値以内であった。 ・質疑応答無しのため、市の報告は了承されたものとする。
座長	
森山技能士	エ 平成 30 年度南佐渡一般廃棄物最終処分場の放射性物質濃度等の測定結果について ・放流水の放射性物質濃度及び敷地境界の空間放射線量率の測定結果について、会議資料の 6 ページにより説明する。 ・東日本大震災による津波等の影響により、福島原子力発電所で事故が発生したため、平成 24 年度から放射性物質濃度等の測定を実施している。 ・測定開始後、放流水の放射性物質濃度は検出されていない。また、空間放射線量率も通常の測定値の範囲内である。 ・質疑応答無しのため、市の報告は了承されたものとする。
座長	
森山技能士	オ 平成 30 年度南佐渡一般廃棄物最終処分場の修繕について ・南佐渡一般廃棄物最終処分場の修繕について、会議資料の 7 ページにより説明する。 ・平成 8 年の供用開始から 22 年を経過し、経年劣化により老朽化が進んだ凝集沈殿槽内の汚泥掻寄機を更新した。 ・また、流量調整槽における水槽内コンクリート躯体の腐食箇所の補修及び水槽内の配管類の交換を行った。 ・経年劣化の修繕は、限られた予算枠の中である程度計画を立てて行われているのか。 ・計画的な修繕を心掛けている。 ・以上で市の報告は了承されたものとする。
参加者	
谷地課長補佐	
座長	
谷地課長補佐	(3) 平成 31 年度以降の運営方針について ・平成 29 年度末を以って真野クリーンパークが埋立終了となり、本年度より南佐渡一般廃棄物最終処分場で真野クリーンパークに搬入されていた廃棄物の埋立てを行っている。引き続き平成 31 年度以降も埋立てを実施していくので、ご理解、ご協力をお願いした

参加者 谷地課長補佐	い。 ・昨年度も説明したが、最終処分場北側法面のモルタル吹付箇所にクラックが発生している。平成 30 年度及び平成 31 年度当初予算に法面補修の予算要求を行ったが、佐渡市も財政が厳しく認められなかった。環境対策課としては、引き続き平成 32 年度以降も予算要求をしていきたいと考えている。 ・緊急度はどれ位なのか。崩れてからでは遅い。補修を行わないのであれば安全が認められるまで使用をやめてもらいたい。
参加者 座長 谷地課長補佐	・平成 27 年度に調査を依頼され、平成 28～29 年度にかけて調査を行った。その調査の結果、一部空洞化になっているため早目の補修が必要と言われたが、モルタル吹付も二重になっており、すぐに崩壊の恐れはないと言われている。 ・何か処置的なものをしてもらわないと、調査から 2 年も経過していて、内部がどのように進行しているか分からないのではないか。現在、佐渡市の最終処分場は南佐渡一か所でやっているのだから、安全管理も徹底し運営してもらいたい。
座長 谷地課長補佐 座長	・協議会として最終処分場北側法面の修繕の実施を強く要望する。 ・協議会から強い要望があったということで、来年度も予算要求していきたいと考えている。 ・以上で市の報告は承認されたものとする。
参加者 谷地課長補佐	(4) その他 ・この後、今年も関係地区には水質の検査結果の回覧を行うのか。 ・3 月中には行う予定である。
座長	閉会のあいさつ